

令和4年11月11日

上尾市議会議長 渡辺 綱一 様

健康福祉常任委員会
委員長 戸野部 直乃

健康福祉常任委員会の行政視察を行ったところ、その概要は下記のとおりでありますので、報告いたします。

記

- 1 日 時 令和4年10月24日（月）～25日（火）
- 2 視 察 地 愛知県大府市
愛知県豊橋市
- 3 視察内容 愛知県大府市
・「健康都市おおぶ」の取り組みについて
愛知県豊橋市
・「こども未来館ここにこ」について
- 4 参加委員 戸野部直乃 海老原直矢 原田 嘉明 佐藤恵理子
矢口 豊人 新藤 孝子 星野 良行 前島 るり
- 5 執 行 部 子ども未来部長 岡野 孝史
健康福祉部長 石川 克美
- 6 随 行 事務局
議会総務課主査 岡野 隆史
議事調査課主任 和田 一駿

愛知県大府市

- 1 調査項目 「健康都市おおぶ」の取り組みについて
- 2 調査期日 令和4年10月24日（月）午前10時～11時30分
- 3 市の概要 人口：92,855人（令和4年9月末現在）
行政面積：33.66km²
令和4年度一般会計当初予算額：344.8億円

4 調査の目的

大府市は、都市に住む人の健康を守り生活の質を向上させるため、国際的な協働を通して健康都市の発展のための知識や技術を開発することを目的に、健康都市連合及び日本支部に加盟している。さらに、加盟都市とネットワークを構築し、市の地域特性に応じた健康都市の実現を目指している。また、令和3年に開催された「第9回健康都市連合国際大会」において、健康都市への取り組みが評価され、世界保健機関（WHO）と健康都市連合（AFHC）から表彰を受けている。

本市においては、令和4年4月、市民一人ひとりの健康意識の醸成を図り、心身ともに健康で元気な健康長寿社会の実現に向けた施策を推進するため、「上尾市スポーツ都市宣言」に「健康」を取り入れ、「上尾市スポーツ健康都市宣言」に改めた。

今後、生涯にわたり主体的に健康づくりに取り組むことができるよう、さまざまなスポーツや健康に関する事業の実施を推進することを目的に、国際的に評価を受けている先進的な取り組みを視察するものである。

5 調査の内容

冒頭に、早川議長から、大府市の概要について10分程度説明を受けた。

◇「健康都市おおぶ」のあゆみ

昭和49年に第1次総合計画を策定以降、一貫して「健康都市」の実現を都市目標に掲げている。平成18年に健康都市連合に加盟し、平成29年には議員提案により『「健康都市おおぶ」みんなの健康づくり推進条例』を制定するなど、市民の健康づくりを応援する環境整備を次々と整えている。

◇推進体制

総合計画において分野横断的に健康都市の実現を目指すこととしているほか、健康増進計画『「健康都市おおぶ」みんなの健康づくり推進プラン』を策定し、市民の主体的な健康づくりを推進している。

庁内連携体制として、WHOが支援する健康都市推進に関する事業を総合的かつ効果的に実施するため「WHO健康都市推進会議」を組織している。委員

長は副市長、委員は全庁から招集し、健康都市推進のための計画立案、健康都市プログラムの策定、事業実施などを所掌事務とする。

また、課題や取り組み内容に応じて、自治区などの地域組織、スギ薬局・タニタヘルスリンクなどの事業者、市医師団などの関係機関、国立長寿医療研究センター・至学館大学などの研究機関・大学といった、多様な主体と連携している。

◇「健康都市おおぶ」みんなの健康づくり推進プラン（健康都市プログラム）

健康増進計画、食育推進計画、自死対策計画の3つを包含したもの。課題を整理し目標を共有して、市民の主体的な取り組みを推進すること・事業者、地域組織、関係団体、市が連携して環境を整備すること・指標と目標値を設定して進捗管理することがこの計画の役割である。

P D C Aサイクルにより進捗管理を行っているが、その時々の特ピックについては、健康都市連合国際大会の表彰論文等において取り組み評価を行う。なお、表彰論文は全て英語のため、募集期間や応募本数によっては、翻訳を発注することもある。

◇WHO表彰（運動分野の取り組み）

「すべての市民をアクティブにするための、歩きたくなるまちづくりと市民主体の生涯スポーツの推進」の取り組みが、健康都市連合国際大会においてベストプラクティス賞に表彰された。主な取り組みは次のとおり。

- ・歩きたくなるまちづくり
 - …緑道や親水空間の整備、ウォーキングコースの策定、各団体との共催によるウォーキング大会の実施、健康づくり推進員による月例ウォーキング
- ・市民主体の生涯スポーツの推進
 - …スポーツ推進委員の主体的な取り組みを支援、学校や企業との連携による施設開放、スポーツ教室の充実
- ・ライフステージ別の健康課題に応じた取り組み
 - …幼児期～学齢期における運動遊びプログラム、青年期～壮年期におけるICTを活用したプログラム、高齢期におけるコグニサイズ・コグニノート

◇現在取り組んでいる主な健康都市施策

商工会議所・協会けんぽとの連携による健康経営の推進、産官学連携による「子どもの近視プロジェクト」や「高血圧対策プロジェクト」に取り組んでいる。

今後は「独自性」「先駆性」「付加価値性」を追求し、健康都市をさらに磨き上げること・SDGsの基本姿勢である持続可能なまちを創造することに取り組んでいく。

※詳細は別添資料を参照。

6 主な質疑応答

問 市民の健康状態や健康づくりの実態調査の分析は、行政で行っているのか、コンサルか、あるいは大学などをお願いしているのか。

答 自前で行っている。

問 本市では社会体育部門は教育委員会、健康・福祉部門は市長部局が担っており、この連携が今後の課題と認識しているが、大府市がスポーツ部門と健康部門を統合した経緯は。

答 もともと教育委員会にスポーツ部門があったが、健康都市の推進に取り組みやすい体制をつくるため、市長の意向もあり、平成20年代半ばに市長部局へ組織改編された。

問 議員提案による条例制定後、議会としての取り組みは。また、市としてはどのような変化があったか。

答 厚生文教委員会において、条例をつくることをテーマとして1年間議論した。制定の翌年にはPDCAを確認するため、各事業へ反映状況を調査したが、それ以降は特段フォローしていない。市としては、各団体に対しヒアリングした上で市の施策とも相違ないように制定された条例なので、後押ししていただいたものと受け止めている。計画の名称も、条例からとったものになっている。

問 子どもの近視予防プロジェクトについて、市民への啓発の具体的な施策は。

答 連携している名古屋大学の先生による、エビデンスに基づいた保護者向けの講演会を開催する。ミニセミナーについては年度当初予定はしていなかったが、近視予防の正しい知識に関するセミナーを開催できないかロート製薬に相談したところ、無償で実現していただけることになった。

【大府市出席者】

議長 早川 高光 氏

厚生文教委員長 小山 昌子 氏

健康未来部健康都市スポーツ推進課長 北川 美香 氏

健康未来部健康都市スポーツ推進課健康都市推進係係長 久保田 美穂子 氏

(司会進行：議会事務局議事課議事係 山下 留以 氏)

愛知県豊橋市

- 1 調査項目 「こども未来館ここにこ」について（現地視察）
- 2 調査期日 令和4年10月25日（火）午後1時30分～3時
- 3 市の概要 人口：371,100人（令和4年9月1日現在）
行政面積：261.91km²
令和4年度一般会計当初予算額：1303.2億円

4 調査の目的

豊橋市の「こども未来館ここにこ」は、0歳から3歳の乳幼児とその保護者を対象として、遊びの場や子育て情報などを提供する子育てプラザ、幼児や小学生を主な対象として、遊びのプログラムや大型遊具が揃う体験・発見プラザ、屋外にはゆるやかな傾斜が特徴の芝生広場や憩いの庭園などが整備されている。

本市においては、所管事務調査の中で、13か所の地域子育て支援拠点やファミリー・サポート・センター、保育施設における一時預かりなどの標準的な事業は実施しているものの、コミュニティセンターの改修に伴い『子供室』が『多目的室』に移行してしまったことなどを踏まえ、子育て世帯が公共施設を利用する際の手助けとなる施策が不十分であるとの意見があった。

さまざまな機能を備えた豊橋市の施設を視察することにより、子育て世帯の負担軽減につながるような本市に活用できる取り組みを調査することを目的とする。

5 調査の内容

平成8年に移転した市民病院の跡地を活用しようと、平成12年に基本構想・基本計画に位置付けられ、平成20年7月に開館した。建設に要した費用は約26億円（うち国庫補助金12億円）で、経常経費は約2億円である。

施設は「子育てプラザ」「体験・発見プラザ」「集いプラザ」から成る。市は子育てプラザの企画運営などを行い、体験・発見プラザや集いプラザの企画運営、施設維持管理は指定管理者が担っている。指定管理者は4社で構成される「ニコリン共同事業体」である。

令和3年度の年間延べ利用者数は約36万人（子育てプラザ9.7万人、体験・発見プラザ16.8万人、集いプラザ9.5万人）であったが、コロナ以前は60～70万人の利用があった。令和3年度の貸室の稼働率（こども未来館主催事業を含む）は48%で、令和元年度の54%と比較すると減少しており、コロナによる影響と考えられる。

子育てプラザには、平成28年に「妊娠・出産・子育て相談窓口」が開設さ

れており、保健師や保育士資格を持つチャイルドサポーターが相談業務を行っている。母子健康手帳の交付は金・土・日曜日であり、特に保健センターが閉庁となる土・日曜日の開設は大変好評である。また、平日は一時預かり事業を実施しており、利用者は年々増加傾向にある。中でも「リフレッシュのため」に預ける利用者が、全体の約45パーセントを占めている。

連携機能として、主に未就学児に接する機会のある活動の中で、支援が必要な親子を早期発見し児童虐待予防を進めることを目的として組織される「子ども相談連絡会」の中心を担っている。構成機関は地域子育て支援センター、こども発達センター、子ども・若者総合相談センター（ココエール）、乳児院などで、定期的な連絡会の開催などにより、情報共有を図っている。また「利用者支援事業情報連絡会」にも属しており、こども保健課、地域子育て支援センターとともに月1回程度の情報交換会を行っている。

資料による説明を受けた後、実際に施設を見学した。子育てプラザの入り口はベビーカーが往来するのに十分な広さがあり、交流スペースは多くの利用者で賑わっていた。妊娠・出産・子育て相談窓口は子育てプラザの入り口手前にあり、利用者に認識されやすいつくりになっていた。体験・発見プラザは、日中であったためにターゲットである学齢期の子どもは少なかったが、実際に稼働していた市電の展示や体を動かすことができるキッズパーク、実際に物を触って体験できるブースなどがあり、遊びながら学習もできる魅力的な施設だった。

※詳細は別添資料を参照。

6 主な質疑応答

問 市民病院の跡地活用として他にも候補があったと思われるが、駅前の一等地に子どもの施設を整備するに至った経緯を詳しく聞きたい。

答 商業施設など3案程度あったが、市民などから意見を聞きながら決定したと聞いている。

問 指定管理者について、4社が共同事業体を組んだ経緯は。

答 昭和建物管理(株)は施設管理、エリアワン(株)は事業の企画、(株)イベントプロワイドはイベントの中心として事業者・担当者の募集、(株)豊橋園芸ガーデンは庭園の植栽管理といったように、それぞれの得意分野を生かしているものと考えている。なお、こども未来館と併せて、交通児童館の指定管理も行っている。

問 妊娠・出産・子育て相談窓口は平成28年に開設したとのことで、かなり早い時期であるが、開設に至った経緯は。

答 妊娠期から早期の支援の必要性を感じており、また、保健センターにおける

母子健康手帳の交付は平日のみの対応であった。土日に開設すれば夫婦で来所できる方も多く、保健センターなどと情報連携をしていく中で、子ども未来館内に相談窓口を開設するに至った。

問 男性の育児参加の促進のために取り組んでいることはあるか。

答 父母揃って遊びに来ることが多く見られたが、現在は父親だけで利用していることが多くなってきている。そのような状況を受けて、父親と子どもをターゲットにした親子教室を継続的に開催している。

問 相談対象は乳幼児が中心であると思われるが、中高生や15歳以上の相談は行政に専門窓口があるのか。

答 子育てプラザは0～3歳が中心であるが、きょうだいなどの相談は保健師などが受けている。それ以外の年齢の相談は、隣の建物の子ども・若者総合相談センター（ココエール）で受けており、40歳までが対象となっている。相談内容によって、そちらにつないで連携している。

問 近年、一時預かりが急激に増えているが、どのような理由が考えられるか。待機児童などに関連はあるか。

答 豊橋市の待機児童はゼロであるので、保育所に預けられないから一時預かりが増えたということではない。周知を徹底したことなどにより、利用が増えたと考えている。また、一時預かりを利用する理由として最も多いのが「リフレッシュ」であり、コロナなどによる疲れや資格取得のために一旦子どもを預けたいという方が多いと思われる。

問 市電シミュレーターの修理でクラウドファンディングを活用した経緯について詳細を聞きたい。

答 修理のための予算が取れない中、指定管理者から提案があった。今回は地域資源の保全の観点から、初めて活用するに至った。今後も、クラウドファンディングに見合うものであれば、活用していくこともあるかもしれない。

【豊橋市出席者】

子ども未来館館長 土田 弘人 氏

子ども未来館事務長補佐 白井 正利 氏

妊娠・出産・子育て総合相談窓口子育てプラザ専門員 末吉 君恵 氏

（司会進行：議会事務局議事課 杉浦 文香 氏）

愛知県大府市



▲集合写真



▲大府市議会議長の挨拶



▲戸野部委員長の挨拶



▲視察の様子





▲海老原副委員長の挨拶



▲議場



▲議場の窓から見た風景



▲大府市議会議長、厚生文教委員長と

愛知県豊橋市



▲集合写真



▲戸野部委員長の挨拶



▲視察の様子



▲視察の様子



▲子育てプラザ（無料）入口



▲子育てプラザ内



▲体験・発見プラザ（有料）内



▲体験・発見プラザの展示



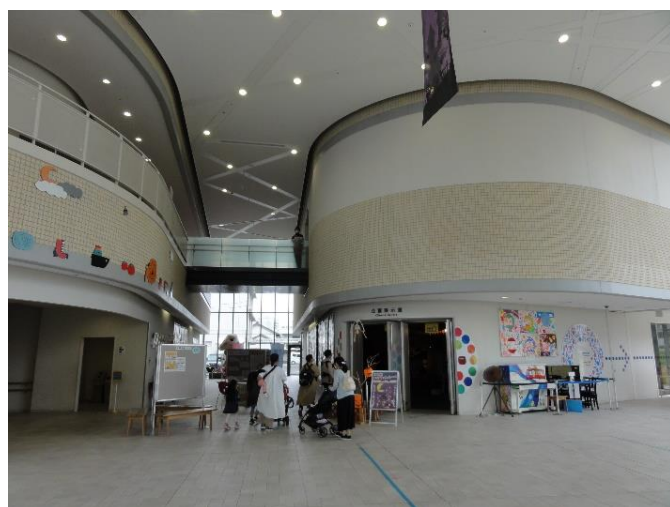
▲体験・発見プラザに展示されている市電



▲体験・発見プラザの展示



▲企画展示室



▲施設の様子